

## 日本分析化学会九州支部 2010年度 第2回常任幹事会 議事録

日 時：2011年2月19日(土) 13:30~15:10

会 場：福岡大学 文系センター2F第1会議室

参加者：出席者：山口敏男(福岡大理・支部長)、片山佳樹(九大院工・理事)、神崎亮(鹿児島大院理工・副支部長)、柳 雅之((株)三井化学分析セ大牟田分析部)井上高教(大分大工)、黒木広明(第一薬科大学)、戸田 敬(熊本大院自然)、中島憲一郎(長崎大院医歯薬総合)、能田 均(福大薬)、原田 明(九大院総理工・Anal. Sci.誌編集委)、松田直樹(産総研)、原田雅章(福岡教育大) 浜瀬健司(九大院薬・ぶんせき編集委)、富安卓滋(鹿児島大理・分析化学編集委)、塩路幸生(福岡大理・庶務幹事)、吉田 亨次(福岡大理・会計幹事) 村田正治(九大医・次期庶務幹事)、森 健(九大院工・次期会計幹事)、肥後盛秀(鹿児島大院理工・2012年分析化学討論会実行委員長)、 (敬称略) 出席人数 19人

### 1. 報告事項

#### 1-1 2010年度支部事業経過報告

##### 1-1-1 報告済事業

山口支部長より以下の幹事会承認事項について報告された。

- ・九州分析化学若手の会・九州分析化学若手賞
- ・九州分析化学会賞・奨励賞
- ・第47回化学関連支部合同九州大会・九州分析化学ポスター賞
- ・第51回分析化学講習会
- ・学会共催

##### 1-1-2 支部関連会議

山口支部長より2010年度開催した支部関連会議について報告された。

##### 1-1-3 九州支部講演会・見学会

柳副支部長より支部講演会(参加者21人)・見学会(参加者16人)について報告された。

期日：平成22年11月13日(土) 10:00~16:00

会場：福岡大学文系センター4F第4会議室

及び(株)三井化学大牟田分析センター 大牟田分析部

##### 1-1-4 機器分析ワークショップ

神崎副支部長より機器分析ワークショップを今年度は、九州支部内の複数会場で行ったことについて報告された。

福岡会場

日 時：2010年11月10日

会 場：福岡大学文系センター棟4階第4会議室

参加人数：40名(参加登録43名)

鹿児島会場

日 時：2010年11月24日

会 場：鹿児島大学産学官連携推進機構1階ディスカッションルーム

参加人数：21名(参加登録33名)

内容(抜粋)：

山口支部長(福岡)・神崎副支部長

(鹿児島)による挨拶  
FT/IRの基礎と分析手法の紹介  
(日本分光)  
X線回折の基礎と応用(リガク)  
表面を観る(島津製作所)  
直接イオン化(DART)MSの紹介・他  
(ジェイ・サイエンス西日本)

#### 熊本会場

日時:2010年9月29日  
会場:熊本大学理学部1階大講義室C122  
参加人数37名(登録40名)

#### 北九州会場

日時:2011年1月27日  
会場:ウェルとばた83・84会議室  
参加人数 登録20名

#### 内容(抜粋):

戸田幹事(熊本)・三菱化学 田中氏  
(内嶋常任幹事の代理)による挨拶  
直接イオン化法(DART)MS分析の紹介  
高分解能ベンチトップ型FT-MSの  
応用例  
異種検出器を用いた広範囲イオン  
クロマトグラフィーの紹介

#### 長崎会場(予定)

日時:2011年3月4日  
会場:長崎県農協会館702・703会議室

機器分析ワークショップについて、地方での開催を行ったことで参加人数は増加したが、実際の機器を使ったワークショップの内容にすればもっと参加者は増えたであろうとの意見があった。実際に複数の会場に大きな機器を導入してワークショップを開催することは困難であり、目的とする大型の機器を所有する大学に集まってワークショップを開催してはどうかとの意見もあった。各メーカーともデモは行っており、今後九州支部が機器分析ワークショップを行うことの意義、各メーカーが行うデモとの差異についてさらに検討する必要がある次年度執行部への申送り事項とされた。

#### 1-2 2010年度支部会計中間報告

吉田会計幹事より報告された。今年度は4万円程度が赤字となる予定。  
神崎副支部長より支部ニュースの会計報告がなされた(審議事項参照)。

#### 1-3 理事会報告

片山理事が欠席により、山口支部長が代理で理事会報告を行った。現会長である中村会長が分析化学会会長に再任されたこと、資格認証制度は今年度開催の資格試験に加え、液クロ分析士2段、質量分析士2段(ともに6月)が行わ

れる予定ことおよび分析化学会の公益法人化は、12年度から完全移行で11年度は移行期となる旨が報告された。

また、講習会の謝金の支払いに関して新しく規定が設けられたことが報告された。(詳細については別紙参照)

なお、本部支部連絡会議は開催されておらず、今回報告事項から削除した。

#### 1-4 各誌編集委員会報告

原田「Anal. Sci.」編集委員より編集委員会の報告がされた。例年通り年6回の編集委員会が行われたこと、現在のI Fが1.58であることが報告された。

富安「分析化学」編集委員より編集委員会議事について報告された。次年度の年間特集が「土」になる予定。

浜瀬「ぶんせき」編集委員より、編集委員会報告が行われた。特に問題はなく、今後支部関係のトピックスを支部員に依頼することがあるとの旨が報告された。

## 2. 議事

### 2-1 2011年度支部・本部関係役員

2011年度の支部役員、本部役員が承認された。編集委員に関して、「Anal. Sci.」の編集委員のみ任期が5年となっている。今後、この任期を検討しても良いのではないかとの意見があった。

### 2-2 支部役員の変更

#### 幹事の交代

永瀬幹事が退職されるため高橋浩司氏(福岡県保健環境研究所)への幹事の交代が承認された。

さらに、高瀬 孝雄 京セラ(株)総合研究所→福村 浩隆 京セラ株式会社 分析センターの交代が承認された。

#### 幹事の推薦

2012年分析化学討論会の下記5名の実行委員の幹事への推薦が富安幹事からあり、承認された。

満塩 勝 (鹿児島大学大学院理工学研究科 助教)

中島 常憲 (鹿児島大学大学院理工学研究科 助教)

蔵脇 淳一 (鹿児島大学大学院理工学研究科 教授)

児玉谷 仁 (鹿児島大学大学院理工学研究科 助教)

中武 貞文 (鹿児島大学産学官連携推進機構 准教授)

原田明幹事から松田賢士氏((株)光正 北九州事業所分析センター長)の幹事への推薦があり承認された。

#### 参与への推薦

山口支部長より大森 保幹事(元 琉球大学理学部 教授)が沖縄県での分析化学討論会の実行委員長を務められたこと、日本分析化学会九州支部沖縄部会を設立されたことなど支部活動に大きく貢献されたことから参与への推薦があり承認された。

参与への推薦の規定に関して他支部では規定が設けられていない。参与の

数が増えても支部の財政が圧迫されることがないので、支部活動に大きく貢献された幹事に関して、支部役員の判断で参与への推薦を行うこととなった。

#### 2-3 2010年度支部予算案

吉田会計幹事より2011年度の予算について説明がなされ、承認された。神崎副支部長より2010年度の支部ニュースについて、郵送1回、電子メール配信2回で予定されていたが、電子メールでの配信のみでは会員が読まないことが危惧されるため、支部ニュースを幹事に一定部数をまとめて郵送し、学生会員に配布することが提案され承認された。次年度支部ニュース配信方法に関しては次年度に持ち越されることになった。

#### 2-4 2010年度支部事業計画案

塩路庶務幹事より2011年度の実業計画について説明があり、承認された。

#### 2-5 第48回化学関連支部合同九州大会

塩路庶務幹事より7月9日(土)9時00分～17時(予定)に北九州国際会議場で開催され、分析化学会九州支部関係では依頼講演として、王子田彰夫先生(九大院薬)に「生命現象解明のための新しい蛍光プローブ開発」の講演をお願いすることが報告され、承認された。

#### 2-6 第24回九州分析化学若手の会 春の講演会

塩路庶務幹事より、宗 伸明先生(九大院工)のお世話で5月28日(土)13:30から九州大学伊都キャンパス総合学習プラザ工学部大講義室で開催されることが報告され、承認された。

#### 2-7 第29回九州分析化学若手の会 夏季セミナー

塩路庶務幹事より、井倉則之先生(九大院農)のお世話で7月28日(木)～29日(金)に国民宿舎めかり山荘で開催される予定であることが報告され、承認された。

#### 2-8 外国人講演会

塩路庶務幹事より、梅林泰宏先生(九大院理)のお世話で5月2日(月)に九大理学部化学科第3講義室で外国人講演会が開催される予定であることが報告され、承認された。

#### 2-9 共催依頼

塩路庶務幹事より、6月2日(木)～4日(金)に福岡大学にて行われる第18回クロマトグラフィーシンポジウム(クロマトグラフィー科学会主催)の共催依頼が山口政俊先生(福岡大薬)よりあったことが報告され、承認された。

以上